

2023年度決算・2024年度予算

【2023年度決算】

事業活動計算書の収益は、7,228,251千円で予算比97.7%、前年比101.2%でした。新規事業として、はぐくみの杜かしわ（柏市・児童養護施設）の開所がありました。その他に、デイサービスセンター稲毛（千葉市・通所介護）を閉所しデイサービスセンターKirari（千葉市・認知症対応型デイ）を開所、介護ステーション稲毛（千葉市稲毛区・訪問介護）を閉所し介護ステーション磯辺（千葉市美浜区・訪問介護）を開所、あかとんぼ土浮とあかとんぼ佐倉（共に佐倉市・放課後等デイ）を合併し、あかとんぼさくら（佐倉市・放課後等デイ、児童発達支援）を開所しました。経常増減差額は、42,025千円で予算より9,359千円下回り、前年実績より8,701千円下回りました。経常増減差額率は0.6%（前年0.7%）です。

【2024年度予算】

法人全体の予算は、サービス活動収益計画を7,644,557千円（前年実績対比105.8%）、サービス活動費用計画を7,518,028千円（前年対比104.2%）、経常増減差額138,022千円の編成です。経常増減差額率は1.8%（前年実績0.7%）となります。最終的な当期活動増減差額は138,022千円で編成しました。予算は各事業所の数値を合算しています。前期繰越活動増減差額は、予算編成時点での予測値です。計数整理の結果、若干変動を生じる場合があります。

事業活動計算書（2023年度決算：2024年度予算）

単位：千円

勘定科目		2023年度決算 金額	前年比 (22年度実績対比)	2024年度予算 金額	前年比 (23年度実績対比)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	4,029,180	97.2%	4,178,754	103.7%
		老人福祉事業収益	292,390	97.1%	322,215	110.2%
		児童福祉事業収益	621,544	115.4%	785,533	126.4%
		保育事業収益	634,499	107.5%	600,801	94.7%
		就労支援事業収益	32,767	158.7%	39,705	121.2%
		障害福祉サービス等事業収益	956,707	100.8%	1,054,843	110.3%
		医療事業収益	208,442	102.2%	216,879	104.0%
		その他の事業収益	419,447	115.0%	417,743	99.6%
		建物貸付事業収益	24,090	107.7%	25,674	106.6%
		ヘルパー講座事業収益	1,172	183.5%	1,749	149.3%
		経常経費寄附金収益	7,962	93.8%	656	8.2%
		その他の収益	47	94.0%	0	-
		サービス活動収益計（1）	7,228,251	101.2%	7,644,557	105.8%
	費用	人件費	5,199,515	100.7%	5,399,350	103.8%
事業費		569,162	98.3%	669,066	117.6%	
事務費		859,465	106.2%	871,807	101.4%	
就労支援事業費用		44,638	124.7%	46,643	104.5%	
福祉用具事業費用		293,595	100.0%	286,780	97.7%	
減価償却費		337,263	101.7%	339,251	100.6%	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△91,791	-	△94,903	-	
徴収不能額 他		2,340	229.0%	30	1.3%	
サービス活動費用計（2）		7,214,188	101.2%	7,518,027	104.2%	
サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）		14,062	88.7%	126,529	899.8%	
外増減の部	収益	サービス活動外収益計（4）	47,659	87.6%	28,161	59.1%
		費用	サービス活動外費用計（5）	19,695	100.8%	16,669
	サービス活動外増減差額（6）＝（4）－（5）	27,963	80.2%	11,492	41.1%	
経常増減差額（7）＝（3）＋（6）	42,025	82.8%	138,022	328.4%		
特別増減の部	収益	特別収益計（8）	276,537	521.1%	5,000	1.8%
	費用	特別費用計（9）	278,290	266.7%	5,000	1.8%
	特別増減差額（10）＝（8）－（9）	△1,753	-	0	-	
当期活動増減差額（11）＝（7）＋（10）	40,272	-	138,022	342.7%		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（12）	885,436	99.3%	922,995	104.2%	
	当期末繰越活動増減差額（13）＝（11）＋（12）	925,705	103.9%	1,061,017	114.6%	
	その他の積立金取崩額（14）	19,412	61.0%	36,030	185.6%	
	その他の積立金積立額（15）	33,813	90.7%	7,600	22.5%	
	次期繰越活動増減差額（16）＝（13）＋（14）－（15）	911,306	102.9%	1,089,447	119.5%	

*2024年度予算の「前期繰越活動増減差額」は予算編成時点での予測値で編成しています。

風の村 つうしん

2024年7月



理事長 三好規

2024年の始まりは、1月1日大変不幸な能登地方における大震災でした。6月20日時点での死者数は282人、重軽傷者1316人、住宅被害125736軒となっています。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、住宅を失った方々へのお見舞いを申し上げます。

1万人以上の方が避難を余儀なくされ、風の村では輪島市の福祉避難

所にいらっしゃる方を1月16日～2月20日の期間、8人職員派遣し、他法人と協力して支援しました。また県が募集したDWATにも1名1週間派遣しています。改めて、大災害が発生した際の地域住民の助け合いが重要であることを感じ、福祉事業者として対応についてしっかりと準備しておかなくてはならないことを認識しました。

私たちは既存の枠にこだわらず
地域で必要とされる質の高い福祉事業をさらに推進します。

さて、6月11日に経済財政諮問会議から2024年骨太の方針原案が示されました。2年半前のウクライナ侵攻をきっかけに世界でエネルギー、食糧確保の不安が増大し、それに伴って物価高、その物価を追いかけるように積極的な賃上げを行うように政府は旗を振ってきました。第一章には「成長型の新たな経済ステージへの移行」、「デフレ完全脱却の実現に向けて」という表題が並び、物価高以上の賃上げをと謳っています。今年は大手企業を始めとして多くの企業が5%～6%の賃上げを実施しました。一方、少子化が進み、人材不足がほとんどの業種に広がる中で、特に大きな影響を受けているのは福祉業界です。風の村ではこの

間、毎年30人～40人程度の新卒者を採用してきましたが、今年は大きく流れが変わり説明会参加者が激減しています。福祉関係の学部卒業者が福祉関係の仕事には就かず、他の業態に流れています。防衛費増額や、異次元の少子化対策予算と相対的に高齢者、障がい者福祉について予算の伸びが圧縮されており、他業態に比べて働く人々の処遇を十分に高めることができていません。私たちはもちろん働きやすい職場運営や処遇改善にも意欲的取り組んでいますが、さらに支え手となる職員の安心感と意欲を高められるように国の制度として様々な改善が実行につながることを求めています。国の長い将来を見据え、皆で声を上げてい

くことが必要です。

現在、風の村のサービスを利用されている方は約1万人となり、職員は約1800人います。高齢介護、障がい者支援、保育、児童養護、困窮者相談支援など多様な事業に取り組み、地域の方々に評価いただくとともに大きなご協力をいただいています。制度の枠にとらわれない生活クラブ安心システムによっても孤独な状態に置かれている高齢の方、障がいのある方をはじめ、様々な事情のある方の支援と地域での協力関係を今後も広げていきます。

どうぞよろしくお祈りします。



2023年9月、東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県石巻市を訪問し、被災された施設の見学やお話を聞かせていただきました。生活クラブ生協の消費財として国産原料で作る水産加工品会社の「高橋徳治商店」では、被災後は事業の再建だけでなく、ユニバーサル就労支援も進めてこられたそうです。生産性や効率だけに価値を置くのでは



なく、人としての存在意義を認め合えるユニバーサルな職場作りが実現できていると感じました。「イシノマキ・ファーム」では、集落ごと津波で流された北上町で栽培したホップを使用し、クラフトビールを作っています。ホップ栽培ではユニバーサル就労（農福連携）や耕作放棄地の活用など地域貢献にもつながっており、地域共生社会づく



りを実践されてきました。「大川小学校（伝承館）」は、多くの命が失われた震災遺構です。改めて災害への備えが重要であると感じるとともに、多くのご利用者を支える法人として、事業所毎にカスタマイズした防災マニュアルの徹底、その時の行動を「決めておく」「共有する」「訓練する」ことにより多くの命が救われることを学びました。